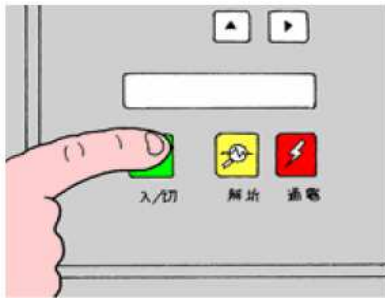


AEDの使い方

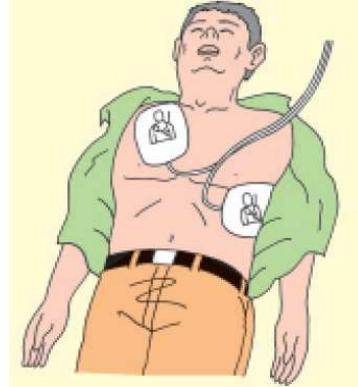
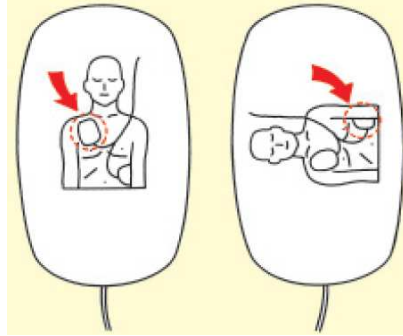
AEDとは：コンピューターによって自動的に心電図を調べて、必要な時のみ電気ショックを与える機器

使い方：音声案内してくれますので、それに従って操作してください。文字や映像が表示される機器もあります。

①AEDが到着したら、まず電源を入れる。ふたを開けると電源が入る機器もある。



②電極パットを胸部に貼る。電極パットを貼る位置はパットに書かれた絵のとおり、皮膚にしっかり密着するように貼ります。体が汗等で濡れている場合はタオル等で拭き取ってから貼って下さい。ペースメーカーがある場合はその上を避け、貼り薬を貼っている場合は、はがして下さい。パットどうしが触れたり重なったりしないように貼って下さい。間違えて反対に貼っても問題ありません。



③電気ショックの必要性をAEDが判断します。心電図を調べている時は傷病者の体に触れないで下さい。



④ショックボタンを押す
誰も傷病者に触れていない事を確認してから、点滅しているショックボタンを押す。自動で電気ショックする機器もある。



⑤心肺蘇生法を再開する
電気ショックが完了したら、AEDの音声案内に従い直ちに胸骨圧迫を開始する。



心肺蘇生法を再開した後は、AEDの音声ガイダンスに従って下さい。(AEDは2分間ごとに、自動的に心電図を調べます)心肺蘇生法とAEDの使用は、救急隊が来て引き継ぐ時か、明らかな仕草(起き上がってくる、嫌がって暴れる等)があったり、普段どおりの息が出現するまで続けて下さい。なお、1度貼った電極パットは、はがさないで下さい。

その他の処置

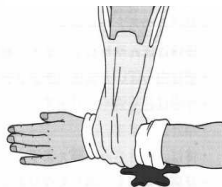
回復体位

反応は無いが、正常な呼吸をしている



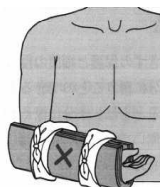
止血

直接出血部位を圧迫して止血

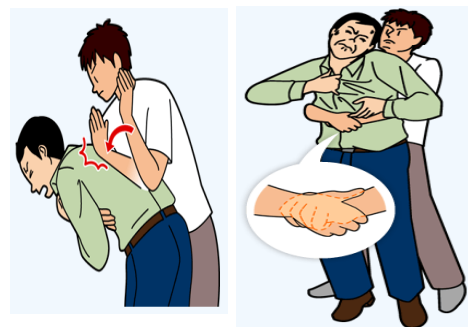


固定

骨折部の上下の関節を固定



異物除去の方法



火事と救急は119番 救急車を上手に使いましょう！

心肺蘇生法が分からなければ、電話にて助言(アドバイス)をもらえます。

応急手当を行ったことで、不安に感じるがありましたら、お1人で悩まずに、お住まいの地域の保健所、役所や役場、または精神保健福祉センターなどにご相談下さい。

参考「こころの健康相談統一ダイヤル:0570-064-556」

「よりそいホットライン(一般社団法人 社会的包摂サポートセンター):0120-279-338」